

道東自動車道 新得PA工事

割掛対象表 参考内訳書

- 割掛対象表 参考内訳書は、入札(見積)参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って、請負契約上の拘束力を生じるものではない。
- 割掛対象表 参考内訳書の内容に関する質問は受付けない。

令和8年4月

東日本高速道路株式会社 北海道支社

帯広工事事務所

割掛対象表参考内訳書1/2

【共通仮設費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
工事用機械運搬費	質量20t以上の建設機械の 貨物自動車等による運搬及 び運搬時の損料に要する費 用をいう。	○基地から現場 【運搬距離一約190km（片道）】 硬質地盤圧入専用機械（普通鋼矢板用）：1台－1往復	－
工事用機械分解組立費 （土工A）	道路掘削、捨土掘削及び盛 土工で使用する重建設機械 の分解、組立、輸送及び運 搬時の損料または賃料に要 する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離一約190km（片道）】 バックホウ1．0 m ³ 以上：4台－2往復 湿地ブルドーザ20 t級：8台－2往復 ブルドーザ32 t：1台－1往復 リッパ付ブルドーザ32 t：2台－1往復	－
工事用機械分解組立費 （土工B）	土取場の客土掘削に使用す る重建設機械の分解、組 立、輸送及び運搬時の損料 または賃料に要する費用を いう。	○基地から現場 【運搬距離一約190km（片道）】 バックホウ1．0 m ³ 以上：1台－1往復 湿地ブルドーザ20 t級：1台－1往復	－
仮設材等運搬費（土留材）	構造物掘削特殊部A及び用 排水工で使用する仮設材等 （鋼矢板）の運搬に要する 費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離一約190km（片道）】 構造物掘削特殊部A及び用排水工で使用する仮設材等 （鋼矢板）の運搬費	○
仮設材等運搬費（仮設防護 柵）	仮設防護柵工で使用する仮 設材等（仮設防護柵）の運 搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離一約190km（片道）】 仮設防護柵工で使用する仮設材等（仮設防護柵）の運搬費	○
土質等試験費	施工管理要領に記載されて いる項目以外の試験に要す る費用をいう。	試験項目： 「JGS0172-2020 凍上性判定のための土の凍上試験方法」 試験回数：4回 ・現地発生土：路床凍上抑制層 ・RC－40：簡易舗装路盤工 ・RC－80：盛土工A4 ・C－80：用排水工凍上抑制材	－
地質調査等費	平板載荷試験、ボーリン グ、サウンディング、その 他原位試験に要する費用 をいう。	【平板載荷試験】 7箇所（橋台：2箇所、L型擁壁：4箇所、C－B x：1箇 所）	－
非破壊検査試験費	コンクリート構造物の非破 壊検査による鉄筋かぶり確 認に要する費用をいう。	【コンクリート非破壊試験】 橋台：2基 C－B x：1基 側面：40箇所（橋台：24箇所、C－B x：16箇所） 頂版下面：4箇所（C－B x：4箇所）	－

【仮設備工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
足場工費	一般構造物の施工に必要な 足場工に要する費用をい う。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 ・A1，A2橋台：V=1,730.4空m ³ ・C－B x：V=1,316.5空m ³ ・L型擁壁：V=75.0空m ³	－
支保工費	コンクリート構造物施工 時、所定の形状のコンク リート構造物に仕上げるた めの、仮設の支保構造物に 要する費用をいう。	【くさび結合支保工】 ・載荷荷重3.1t/m ² ：V=102.9空m ³ 、存置日数109日 ・載荷荷重2.9t/m ² ：V=1,384.1空m ³ 、存置日数129日	－

割掛対象表参考内訳書2/2

【雑工事費】

割掛対象表 の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
のり面仕上げ費	共通仕様書 2-6-5 (8) 及び 2-7-5 (6) に規定する作業に要 する費用をいう。	【のり面仕上げ】 ・切土部(1:1.5、一部1:1.2~1.5):54,335㎡ 土砂:48,649㎡ 軟岩:5,686㎡ ・盛土部(1:1.8):8,076㎡	—
作業環境養生費	冬期間施工するコンクリ ート構造物施工時に必要な保 温養生設備等に要する費用 をいう。	【養生囲い・暖房設備一式】 寒中コンクリート養生期間:11月上旬~4月上旬 (日平均4℃以下) 日平均外気温-1.9℃、昼間の平均外気温0.1℃ 加熱気積:A1橋台-1,767.8空㎡ :A2橋台-2,019.0空㎡ :C-Bx-3,992.2空㎡ 加熱温度:作業中5℃、打設後5℃(4日間)0℃(2日間)	—
構造物水抜穴費	コンクリート構造物に設置 する水抜穴に要する費用を いう。	【VP(φ75)】 A1、A2橋台:L=25.6m	○
支承アンカーボルト箱抜費	橋梁下部工工事において、 上部工施工時の支承、アン カーバー、落橋防止装置を 設置するための、箱抜に要 する費用をいう。	【支承アンカーボルト箱抜(スパイラルシース)】 A1橋台:φ300 12箇所 A2橋台:φ250 12箇所 【落橋防止装置箱抜(トランペットシース)】 A1橋台:φ125 4箇所 A2橋台:φ125 4箇所	○
小口型わく費	現場打ちブロックの小口部 の型わくに要する費用をい う。	コンクリートブロック積み擁壁:4箇所 A=18.5㎡	—